

## 14. ポット造林技術

### 1. 試験担当者

本場造林部造林第一研究室 森 徳典 ほか

北海道支場造林部造林第一研究室 菊田信吾 ほか

### 2. 試験目的

国有林に於いては、40年度よりポット育苗、鉢付苗造林を事業実行のかたわら試験的にとりあげてきており、一部では実用化試験を行なつて逐次事業化を検討中の段階である。そこでこれらポット造林における問題点の解明を行ない、各地域の条件に適したポット育苗、鉢付苗造林方法を究明する。

### 3. 昭和45年度の経過とえられた結果

#### ○本 場

沼津営林署三明寺苗畠で育苗後、144林班に小班に3月より12月まで毎月、植栽し、その後の生長を調査している。

#### ○北海道支場

43年度は旭川、帯広営林局管内の造林地の実態調査を行ない、問題点を抽出した。

44年度は、ポット鉢付苗養成の際の養水分流亡に関する調査を行い夕張営林署と共に用土別ポット育苗試験、ポット鉢付苗植栽時期試験を行つた。

45年度は根の形態の異なる苗木を同一方法で根を切断し、細根の発生状態と生長の関係について調査を行つた。

また夕張営林署と共に行つてある試験地の継続調査を行なつた。

### 4. 昭和46年度の試験計画

#### ○本 場

植栽木の生長調査

#### ○北海道支場

1. 夕張営林署と共に設定した試験地の継続調査
2. 苫小牧営林署管内のエゾマツポット造林地の調査
3. 旭川、帯広管内のポット造林地の調査
4. 白樺営林署で養苗中のポット造林用苗木の形質調査およびそれを使用して支場管内での山行モデル試験